

幻想的色彩の山車行列 大呂愛宕祭

8月24日、大呂愛宕祭が鳥上地区大呂地内で行われ、多くの人で賑わいました。この祭りは、およそ300年以上の歴史を持つ伝統的な夏祭りです。毎年、どう屋台や趣向を凝らしたデコ屋台、ねぶたなどの行列が巡行し、夏夜を彩っています。



ライトアップされたどう屋台

この日は、夕暮れから山車行列が区内を進み、大呂愛宕大権現を目指しました。

幻想的にライトアップされたどう屋台では、華やかな衣装をまとった子どもたちが、笛の音に合わせて太鼓やチャンチャの音色を響かせ、訪れた人たちは、夕闇を彩る幻想的な光景と音色に酔いしれていました。

夏夜を彩る「愛宕祭」 大呂、三成で盛大に

幻の一夜城の下で 三成愛宕祭

8月24日、25日の両日、三成愛宕祭が三成中心市街地で開催されました。

24日の本祭りでは、町民有志など若者約100人による「仁多御輿連」の御輿担ぎや、仁多乃炎太鼓の太鼓演奏に合わせた「愛宕踊り子連」などによる威勢の良い踊りなど、県内外の7団体の「仁輪加」が熱気漂う通りを練り歩きました。

また、会場には4箇所のステージが設けられ、神楽社中の公演や山陰を中心に活動するアーティスト「ことのは」と六子さんのライブなどで賑わいました。

愛宕神社とライトアップされた「一夜城」の下で、会場となった通りには多くの露店が並び、大勢の人で夜遅くまで夏祭りの熱気に満たされていました。



熱気あふれる踊りで賑わう通り

住みよいまちを目指して 平成二十三年度 町政座談会開催

町民の皆様から、まちづくりに対する意見や要望を聴き、町政に反映する、平成二十三年度町政座談会が七月から八月にかけて、町内九地区で開催されました。

各会場には、自治会長をはじめ各種団体の代表者や町議会議員、多くの地区住民が出席しました。

座談会では、各地区から、庁舎建設、防災対策やエネルギー政策、各地区の観光資源の活用策や高齢者への生活支



座談会会場の様子(馬木)

援策など、幅広い内容についての意見・要望が出され、活発な意見交換が行われました。今後町では、座談会で議論された意見・要望を踏まえ、各政策を行ってまいります。

なお、意見・要望の詳しい内容・回答については、町広報九月号に合わせて配布する、自治会回覧文書でご確認ください。

地区	開催日	会場	参加者数
布勢	7月12日	佐白ふれあいセンター	35人
三成	7月19日	カルチャープラザ仁多	22人
亀嵩	7月23日	玉峰山荘交流館	26人
阿井	8月 5日	あいコミュニティセンター	53人
三沢	7月16日	三沢公民館	40人
鳥上	7月30日	斐乃上荘	29人
横田	7月27日	雲州算盤伝統産業会館	26人
八川	7月21日	八川コミュニティセンター	32人
馬木	7月15日	馬木コミュニティセンター	43人

みんなて頑張った四日間 吾妻山のびのびキャンプ

吾妻山の草花を観察する子どもたち



吾妻山の自然の中で様々な生活体験をする「吾妻山のびのびキャンプ」が、八月十日から三泊四日の日程で行われました。

夏休みの恒例イベントとして行われるこのキャンプに、今年は町内外の小学生三十一人が参加しました。

子どもたちは、横田山の会やスタッフの協力を得ながら、火おこし、自炊、星空や自然

の観察、ロープワークなど、自然の中で様々な活動を行いました。

また、三日目の夜には、キャンプファイヤーが行われ、炎に照らされる中で、合唱や出し物を披露し、キャンプの夜を楽しみました。

参加した子どもたちは、このキャンプを通じて、仲間と協力することや何にでも挑戦することの大切さを学び、素晴らしい夏休みの思い出を作りました。

鳥上地区民体育大会開催



大会の様子(玉入れ)

平成二十三年度鳥上地区民体育大会が九月四日、鳥上小学体育館で行われました。

当日は、台風による天候不良のため屋内での開催となりましたが、全十二種目に汗を流し、子どもから大人まで多くの地区民が参加して賑わいました。

また、同日に予定されていた、横田地区、馬木地区の大会は中止されました。

神話の舞台斐伊川を歩く おろちウオーク88キロ踏破

ヤマタノオロチ退治など、神話の舞台となった斐伊川に沿って、源流から河口まで約八十八キロを踏破する「おろちウオーク」が八月二十六日から二十八日の三日間の日程で開催されました。

このイベントは、おろちウオーク実行委員会(青木誠会長)が主催し、全国各地から約四十人が参加しました。初日は、往復約十キロの船通

山登山に挑戦。二日目は、地元から十二人のデイリー隊も加わり、斐乃上荘を出発し、雲南市吉田町までの三十六キロ、三日目は斐伊川河口までの四十四キロを歩きました。

参加者は、奥出雲の自然と斐伊川の流れを眺め、神話の世界に思いを馳せながらウォーキングの旅を楽しみました。



奥出雲の自然を感じながら歩く参加者たち

少年剣士たちの熱戦 第46回陰陽少年剣道大会

八月二十八日、毎年恒例となっている陰陽少年剣道大会が、町民体育館で開催されました。

この日は、県内外から約四百五十人の少年剣士が参加。日頃の練習の成果を発揮しようと、懸命に戦っていました。

奥出雲町からの参加者で、三位以上の受賞はありませんでしたが、強豪相手に健闘しました。



会場の様子